

内閣府特命担当大臣 山本 幸三様 祝辞

ただいまご紹介にあずかりました、内閣府 地方創生・規制改革、そして、国家戦略特区を担当しております山本幸三です。本日の国際医療福祉大学医学部の開学と、第1期生となる140名の皆様のご入学を心よりお祝い申し上げます。

また、本日の開学に向けて、これまで御尽力をいただきました多くの関係者、地域の皆様に改めて御礼を申し上げます。

国家戦略特区の担当大臣として、一言御祝いのご挨拶を申し上げます。

先ほどの総理からのメッセージにもありましたとおり、わが国では、38年ぶりの「医学部の新設」が、国家戦略特区で実現いたしました。

この国家戦略特区とは、永年実現できなかった岩盤規制改革を行うことにより、経済社会の構造改革を推進し、産業の国家競争力の強化、国際的な経済活動の拠点の形成を図るものであります。アベノミスク第三の矢・成長戦略の柱であり、スタートから3年余りで、医療・保育・農業・観光など多くの分野で、既に50以上もの規制改革を実現してまいりました。

この医学部の新設は、国家戦略特区の代表格であり、国際空港を擁し東京圏のゲートウェイたる成田市の熱意ある提案を受け、国・県・成田市、そして国際医療福祉大学が一体となって進めてきました。この事業は、国内外の優れた医師を集め、最高水準の医療を提供できる国際医療拠点、医療産業の集積や医療ツーリズムの拡大などを期待され認定されたものであります。

日本の医学部は、イギリスの評価機関が公表している「世界の医学系大学トップ50」によると、東京大学が唯一26位にランキングしている状況です。グローバル競争という視点に立った場合、日本の医学教育が必ずしも十分で無いという現状を、我々はしっかりと認識しなければなりません。

本医学部は、開学にあたり、グローバル人材の育成を目標に掲げ、アジア各国の政府から推薦された20名の優秀な留学生を受け入れると聞いております。

また、国際経験の豊富な30人以上の外国人教員が教鞭を執ることで、海外の先端技術の習得ができるグローバルな環境にあります。

そして、どんな環境でも即戦力として活躍できる、実習を中心としたカリキュラムを組んでいるともお聞きしており、まさに期待通りのスタートを切られたのではないかと思います。本日実現した医学部の新設は、他の大学に大きな刺激を与え、医療教育の競争力の向上に繋がっていくと確信しております。

入学生の皆さんには、多くの方々の御尽力により誕生したこの恵まれた環境を活かし、互いに切磋琢磨しながら、近い将来、世界各国で大活躍されるとともに、日本医学界を牽引する人材に成長されることを強く期待しております。

最後に、本日開学した国際医療福祉大学医学部が、成田空港に近いという地の利を生かして、世界に対応する医療人材育成の拠点として大いに発展されることを祈念し、私の祝辞といたします。